

貯蓄の状況

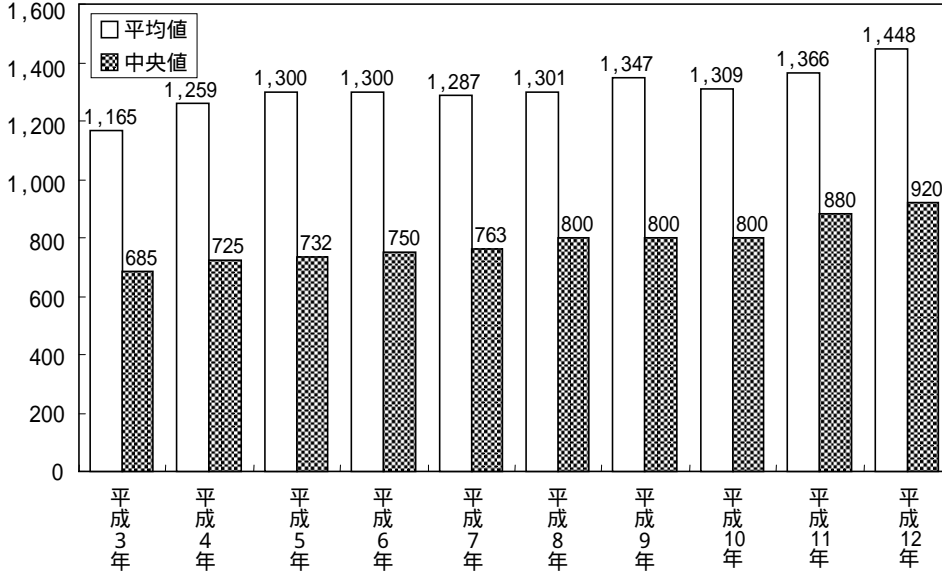
1. 貯蓄の保有状況

本年の1世帯当たり平均貯蓄保有額は1,448万円と、前年(1,366万円)に比べて増加した。年間増加額(+82万円)の金融商品別内訳をみると、預貯金(+26万円)、生保・簡保(+25万円)、投資信託(+18万円)の寄与が大きい。

また、貯蓄保有世帯の中央値は920万円と、前年(880万円)を上回っている。

今後については預貯金(除く郵貯)、個人年金、投資信託、株式等で、「より増やしたい」とする世帯の割合が上昇している。

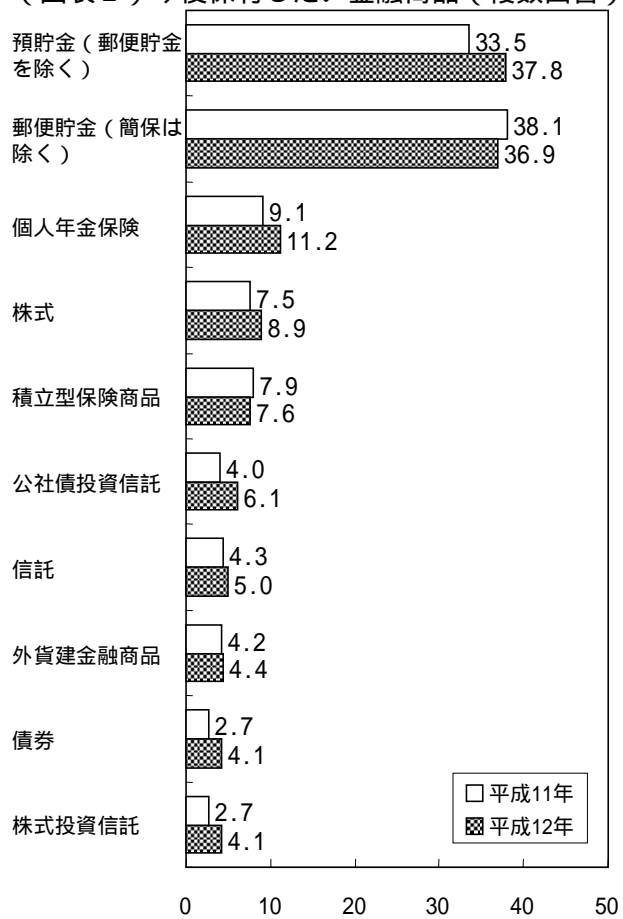
(図表1) 貯蓄保有世帯の貯蓄保有額<問3(a)>



(種類別構成比)

年	貯蓄総額 (万円)	預貯金			金貸付 信託	簡易生命 保険	損害 保険	個人 年金	有価 証券	債 券	株 式	投資 信託	財形 貯蓄	金その他 商品の
		民間 預金	郵便 貯金	預貯金										
平成3年	1,165	51.1	37.3	13.7	6.0	18.8	1.9	2.1	16.0	2.1	11.1	2.8	3.0	1.2
4	1,259	54.7	39.6	15.1	6.0	18.2	1.6	2.1	13.6	2.1	9.3	2.2	2.7	1.1
5	1,300	50.2	35.3	14.9	6.4	19.8	2.0	3.5	14.4	2.5	9.5	2.4	2.9	0.8
6	1,300	51.6	35.5	16.1	5.9	19.8	1.8	3.5	12.8	2.5	7.9	2.4	3.2	1.2
7	1,287	53.8	36.6	17.2	5.4	20.0	1.9	3.9	11.3	2.2	7.0	2.1	3.2	0.5
8	1,301	55.0	36.8	18.2	4.2	20.2		4.6	11.8	2.1	7.6	2.1	3.0	1.2
9	1,347	56.1	37.7	18.3	3.8	21.0		4.8	10.3	1.8	6.8	1.7	2.9	1.1
10	1,309	57.3	36.7	20.6	3.5	20.9	2.1	4.4	8.2	1.5	5.7	1.1	3.0	0.7
11	1,366	57.2	38.5	18.7	2.6	20.1	2.1	4.8	9.7	1.5	7.2	1.0	2.9	0.5
12	1,448	55.7	36.3	19.4	2.7	20.7	2.3	4.8	10.6	1.3	7.1	2.2	2.8	0.3
平成12年の 実額(万円)	1,448	807	526	281	39	300	33	70	154	19	103	32	40	5
(前年差)	(82)	(26)	(±0)	(26)	(3)	(25)	(4)	(4)	(21)	(1)	(4)	(18)	(1)	(2)
うち外貨建て	10	3	3						7	3	0	3		0

(図表 2) 今後保有したい金融商品 (複数回答) < 問 4 >

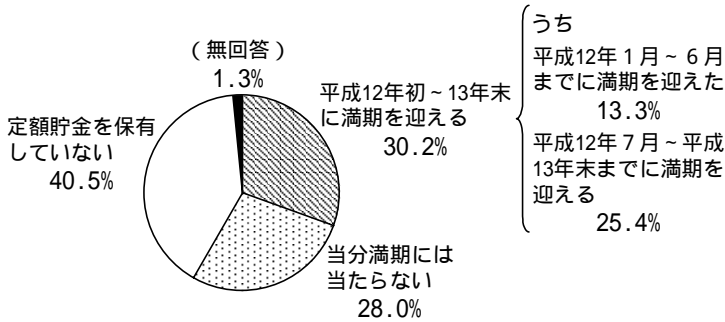


(参考) 定額郵便貯金の満期到来

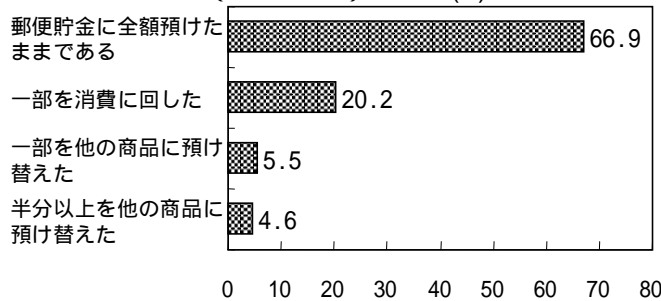
貯蓄保有世帯全体の3割が、本年初から来年末までに満期を迎える定額郵便貯金を保有(定額郵便貯金を保有している世帯の中では5割が該当)。

すでに満期を迎えた資金については、該当世帯の3分の2が「郵便貯金に全額預けたまま」とし、また、今後満期を迎える資金についても、該当世帯の6割弱が「郵便貯金に全額預けておくつもり」としている。

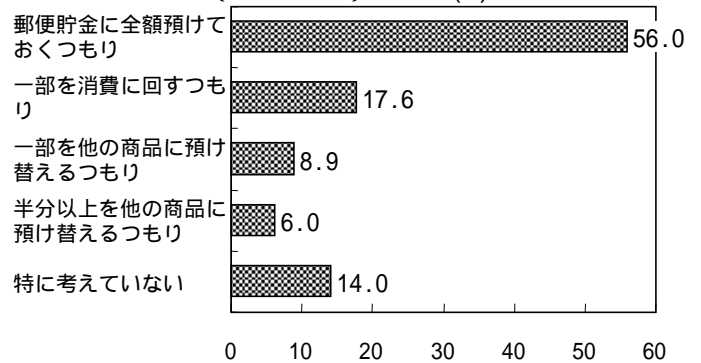
(参考図表A) 定額郵便貯金の保有と満期到来の状況 <問5(a)・(b)>



(参考図表B) すでに満期を迎えた資金の行方 (複数回答) <問5(c)>



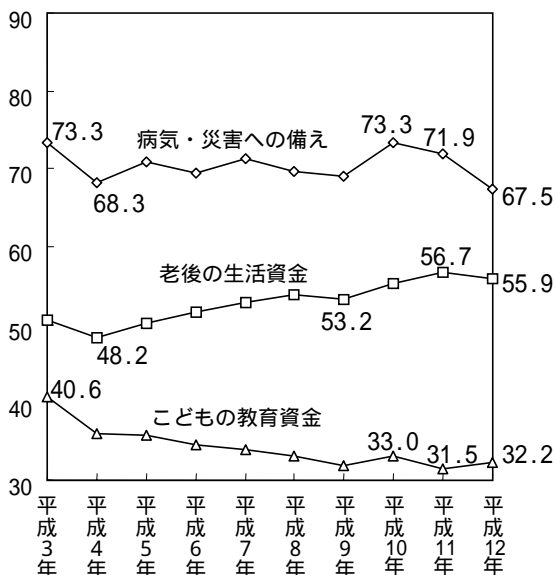
(参考図表C) 今後満期を迎える資金の行方 (複数回答) <問5(d)>



2. 貯蓄の目的

貯蓄保有世帯が貯蓄の目的として挙げている内容は、「病気・災害への備え」が最も多く、これに「老後の生活資金」、「こどもの教育資金」が続いている。なお、中期的なトレンドとしては「老後の生活資金」が上昇傾向にある。

(図表3) 貯蓄の目的 (3つまでの複数回答) <問12> (上位3位まで)



(4位以下)

